

1 学校教育目標

- ・みずからを鍛え みずからを伸ばす生徒
- ・正しく判断し 責任を持つ生徒
- ・人を大切にし 社会に尽くす生徒

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

★我が子を預けたいような学校「当たり前のことを当たり前」 美・徳・和

○学校像

生徒の夢を育てる学校

子どもたちが、日々の生活に充実感や達成感が持てる学校(授業がわかり、秩序が守られ、よりよい人間関係のある学校)

○児童・生徒像

生徒の夢が育つ学校

基礎学力をしっかり身につけ、自ら学び考える生徒。集団の一員として、ルールを守り、協力し共に成長を目指す生徒。

○教師像

教職員の夢が生きる学校

生徒との人間関係を指導の基盤として指導にあたる教師。厳しさとぬくもりをもって指導にあたる教師。

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

<学校の現状>

◎学校について

[よさ]教職員全員で生徒一人一人に目を向けきめ細やかな対応を図り、生徒との信頼関係を積み重ね、「規律ある学校生活」「心の育成」が築かれている。生徒会もスローガンを掲げ活力ある活動を展開し、笑顔のあふれる落ち着いた学校環境となっている。さらに、22年度は学級減の予想を崩し、学級維持ができて、今年度23年度は、1学級増となり、保護者・地域からも一層の信頼を深め支援されてきている。
[課題]学校本来の目的である「生徒個々を生かした学習指導」を高めること。

◎生徒について

[よさ]純朴で明るい、生徒会スローガンを掲げ生徒自らが意識し委員会・部活動に取り組んでいる。
[課題]社会性を磨き、学力の必要性を深め、学力向上(積み重ね学習に重点)を図る。

◎教師について

[よさ]生徒の個々の実態を踏まえ、授業・委員会活動・学級指導・部活動に取り組んでいる。校内研修への取り組みも活発化してきた。
[課題]生徒個々に応じた指導力、学力の定着と向上を図ること。

◎保護者・地域について

[よさ]地域の指導者がPTAOBの方が多い。「地域の学校」との思い入れや期待がさまざまな場面で感じられる。また、信頼を大きく回復でき、多面的な支援を下さるようになってきている。
[課題]学校外学習を含む家庭教育の強化と保護者の学校への来校(学校でのわが子等の活動の実態把握の認知)増を図ること。

4 重点的な取組事項

番号	内容	実施期間				
		21	22	23	24	25
1	授業と学校外学習の定着を身に付け、学習意欲と学力向上を図る。			○	○	○
2	社会性を磨き、規律ある学校生活の維持・感動ある学校行事			○	○	○
3	マネジメント生かし、指導力を高め信頼される教師の育成			○	○	○

5 平成23年度の重点目標

重点的な取組事項－1		授業と学校外学習の定着を身に付け、学習意欲と学力の向上を図る。
A 今年度の成果目標		達成基準
「やった・分かった」を実感できる学習成果		学校評価80%
繰り返し学習（学校外学習）		
項目	達成基準	具体的な方策
朝読書と表現力	・年間1000ページ達成生徒40% ・都新聞コンクール入賞	・毎日10分の朝読書 ・2か月に1回200字感想文を書き新聞等で発表
繰り返し学習（学校外学習）	70%が1日30分～1時間実施	・自主学习ノートを活用して実施、月2回の確認（保護者支援も含む）
授業で分かったと言える生徒づくり	・220時間補習講座の開設	・放課後補習教室 ・夏季休業中の民間補習 ・教科担任等支援

重点的な取組事項－2		社会性を磨き、規律ある学校生活の確立・感動ある学校行事
A 今年度の成果目標		達成基準
協働・共育を通し、生徒の規律ある学校生活と意欲的な行動の育成		学校評価において70%の評価を得る。
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
社会性を磨く	学校評価等で70%達成	・国際理解教育等の体験的学習の企画・運営等を通し、社会性を磨く。
規律ある学校生活の確立	各キャンペーン達成率80% 学校評価で90%達成	・生徒会等を中心にキャンペーン活動を通し、律する心を培わせる。
協働・共育の連携（保護者の参観）	各出席人数の40%	・PTA活動との連携と広報活動の重視 ・土曜授業の活用（日程・内容の創意等）

重点的な取組事項－3		マネジメント力を活用し、指導力を高め信頼される教師の育成
A 今年度の成果目標		達成基準
マネジメントを生かし、若手教員の力量アップを図る。		学校評価70%を目指す。
B 目標実現に向けた取組み		
項目	達成基準	具体的な方策
授業力の向上実践	年2回以上各自授業参観 年3回公開授業研修	①「シラバス」を作成・指導に活用 ②日常的には相互に授業を参観し合う。また、4名の若手教員は「指導方法」を課題に研究授業を実践し、授業力を磨く。 ③校内研修委員会が中心となり、授業研修会を設定、講師を招聘し授業力を高める
生徒理解と把握	教育相談年3回・ 専門的研修年2回	①月2回ずつの特別支援教育校内委員会・不登校対策委員会・スクールカウンセラーを中心に生徒理解の方法の啓発を図る。 ②研究委員会を中心に専門家の招聘で把握力を高める。
教員の新学習指導要領に関する理解を深める	年1回新学習指導要領に関する研修会と資料啓発	①教科部会を活用し理解を深める。 ②教務主幹を中心に資料を提供し啓発 ③校内研修委員会が中心となり、講師を招聘し研修会を実施し次年度の教育課程の理解を深める。